

4補助)、当事者負担は約1割である。(消防長)

に、よく頑張っている。更新制については、総社市の指定管理制度期間は5年。事業所の運営内容を見据えながら、今後の課題にしたい。(市長)

消防について

問 退職消防職員の臨時等雇用の考えはないか。救急搬送は充実しつつあるが、市内の病院受付体制はどうか。来年6月から、一般家庭も火災警報器設置を義務化されるが、火災警報器の設置率と聴覚障がい者用の、警報器の種類と補助を含めた値段を知りたい。

答 消防のプロである退職者の臨時等の再雇用は前向きに検討したい。解釈の仕方かわるが、市内の受け入れはよい。倉敷中央病院や川崎医科大学付属病院にもお願いしている。聴覚者用警報器はバイブレーター式と光を発するフリッカー式で3万5千円前後(国が1/2、県・市が1/

農業振興について

問 ① 今年から始まった戸別所得補償は10aあたり1万5千円。これでは生産費を賄えるものではなく、到底所得補償といえる制度ではないと考える。市長の見解はどうか。
② 今年の米は1万円前後と暴



稲刈り風景

落である。一等米が9600円から1万1千円。二等米三等米になると500円から千円安い。

これは卸業者が入札で下げる。戸別補償制度を逆用してその分を値下げすることが原因である。

農林水産省が発表した米一俵の生産費1万6500円の6割という安値だ。これを放置すると受委託による水田耕作が壊れ、耕作しない水田が

増えてくる。下落対策を政府に求めるべきと考えるがいかがか。

答 ① 率直に言って安いと思う。戸別所得補償で10aあたり1万5千円もらうより、生産調整に協力しないで米を作った方が収入がよいことを考えると安いと思う。(市長)

② 所得補償を見込んだ買ったきをやめさせる方法を国に伝えていく、訴えていくのは当然だ。(市長)

子育て支援について

問 現在の待機児童の実態と今後の予測及び対策はどうか。またチャイルドマインダー育成の学資助成を考えてはどうか。

答 今年4月時点で待機児童は45名、予測は50〜60名である。来年4月に定員90名の保育所を開園する。定員の12

0%入園や幼稚園の預かり保育の情勢をみて考える。チャイルドマインダーへの助成は考えていない。(市長)

問 福山の松が多く枯れているが対策はどうか。

答 昨年度930本に薬剤散布・樹幹注入・伐採処理を県事業枠で行ったが今後広葉樹への樹種転換も選択肢の一つ

とする。(市長)

教育行政について

問 全国学力テストは芳しくなかった。めざす子どものため「総社っ子宣言」を作ったどうか。また園や学校のエアコンはどうなっているのか。

答 全国平均より小学校はやや低く中学校はやや高い。市内全学校で不登校対策、学力向上を目指した取り組みを3年間指定で取り組む。この後に「総社っ子宣言」を考えていく。エアコンは年次的に設置していく。(教育長)

水道事業について

問 人口減少や節水機器の普及、節水意識の高まりで水道の需要が伸びないが、財政の見通しはどうか。また料金の支払いをクレジットカードにする考えはないか。

問 局地的ゲリラ豪雨が頻繁に起こっているが、市街地での対策は十分か。今年度から山手・清音で都市計画税の徴収が始まった。この税は目的税だから防災など市民に見える形で使うべきではないか。
答 ユニチカの東南の連結の起点部分から、柿木、上中島の市街地を流れる雨水用水の

現状について見に行く。その上で総合的な判断をしたい。都市計画税については公園・

笠原 武士

環境対策について

問 総社市が取り組んでいる、ISO14001の経過について聞きたい。長期間続けているとマンネリ化してくると思う。対策として各課で発表会を行い、優秀部門は表彰することを提案する。この活動が庁舎内だけに止まると、効果も限定される。市全体に水

平展開するため、どんな取り組みを考え、実施するのか。

答 平成15年から取り組んでいる。現在では経費節減のため外部委託監査から自己監査に変えている。その結果灯油は平成17年をピークに減少している。電力はコンピュータ処理時間増加により288kw/時増加となった。しか

来年度の予算編成について

しいずれも、目標はクリアしている。マンネリ化対策としての発表会や表彰は、自ら庁議に発議して方法を検討する。市全体への展開については、ゴミ減量化や太陽光発電への助成金及びEMボカシの無料配布等いろいろな対策を行っている。今後の重要テーマとしてゴミ袋値下げにより、処理するゴミが増加しないことを至上命題として、頑張っていく。(市長)

問 来年度予算について基本的にどう考えているのか。

答 緊縮型財政を取らざるを得ないと思う。(市長)